

2019年度 関東支部運営委員会（第1回） 議事録

日時：2019年7月5日（金）9:30～12:00			会場：地盤工学会会館					
支部長	安田 進	○	副支部長	若林 伸幸	×	副支部長	坂上 敏彦	○
副支部長	小峯 秀雄	×	副支部長 発表会Gリーダー	長尾 俊昌	○	監 事	北本 幸義	×
監 事	高橋 章浩	×	幹 事 長	杉山 太宏	○	副幹事長	福原 誠	○
副幹事長	海野 寿康	○	山梨県G リーダー幹事	後藤 聡	×	茨城県G リーダー幹事	松島 亘志	
栃木県G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県G リーダー幹事	若井 明彦	×	神奈川県G リーダー幹事	早野 公敏	
千葉県G リーダー幹事	若月 洋朗	×	埼玉県G リーダー幹事	斎藤 健志	×	研究委員会G リーダー幹事	伊藤 和也	○
会員SG リーダー幹事	三上 武子	○	会 員 G リーダー幹事	山中 光一	○	副支部長代理	三 屋	×
全国大会	内村 太郎	○	オブザーバー	樋口 俊一	×	事務局	青木 美智子	○
栃木県G 代 理	清木 隆文	○						

○：出席予定，×：欠席予定，△：遅刻予定，空欄：未定

新年度の最初の会議であるため各委員の自己紹介を行った。

### 1. 前回議事録の確認

- ・2018年度第4回運営委員会議事録（2/12） 【別紙－1】  
 →内容を[確認し](#)，承認された。

### 2. 最近のスケジュール

- ・第60回通常総会（本部）：2019年6月7日（金）14:00-16:45 【別紙－2】
- ・第54回地盤工学研究発表会（本部）：2019年7月16日（火）～18日（木）
- ・第16回地盤工学会関東支部発表会 GeoKanto2019：2019年10月31日（木）  
 →通常総会における報告内容及びスケジュールを[確認した](#)。

### 3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- (1) 2019年度本部支部連絡協議会開催のご案内及び資料確認のお願い 【別紙－3】  
 →関東支部からの本部・他支部への質問や提案について運営委員会及び企画総務Gで募集したが特に意見は挙がらなかった。
- (2) 「地盤工学会誌」支部編集委員・学生編集委員について 【別紙－4】  
 →支部編集委員は佐々木さん（アサノ大成）が再任，学生編集委員は緑川さん（宇都宮大）の推薦を報告した。
- (3) 「地盤工学会誌」2019年度読者モニター推薦のお願い 【別紙－5】  
 →新年度の読者モニターリストを報告した。
- (4) 2018年度会費未納者リストのご送付 【別紙－6】  
 →入金または退会手続きの連絡を依頼済みであることを報告した。  
 安田支部長より，以前産休に入っている女性会員が会社アドレス宛のメールが確認できず未納となったケースがあり，対応方法について意見を募った。

→職場班など給与天引きであれば問題が生じないが個人で手続きを行っている場合、情報セキュリティの関係もあり会社アドレス宛のメールを他で受信することが難しい場合もある。よって上記(1)の本部支部連絡協議会の際に関東支部から議題として提案する。

- (5) 支部への送金連絡先について 【別紙－ 7】  
→新年度の連絡先の変更について報告した。
- (6) 訃報

#### 4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 2019年度 支部役員体制について 【別紙－ 8】  
→新年度の体制表について報告した。
- (2) 2019年度 関東支部総会議事録 【別紙－ 9】  
→支部総会の内容について報告した。
- (3) 2019年度 運営委員会の開催日及び資料の取扱いについて 【別紙－10】  
→開催日は、第2回(9/12)、第3回(12/13)は議題書のとおりとし、第4回は2/21(金)を予定とする。また、会議資料は現在の印刷物から共有フォルダからの電子ファイルのダウンロード形式に変更する。なお、会議の席では資料をプロジェクターで写しながら行う予定とする。
- (4) 2019年度 商議員会の開催日及び特別講演会の内容について 【別紙－11】  
→開催日は、第1回(10/4)は議題書のとおりとし、第2回(2/20)については以下の理由から電子投票での開催を第1回会議で審議する。  
・支部総会は本部総会に向けて4月中に開催する必要がある。  
・年度会計の審議が従来は年度末前に見込みで承認を受けてよかったがこれから3月末締めで取りまとめて会計監査(4月中旬)を受けた後に実施する必要がある。  
→総会(4月末)までの間に集まって会議を行うのは難しいために会計については監査後の書面表決となる予定で年度末前に開催するのはただの中間報告となってしまう。  
→電子投票システムにどの方式を採用するかについては費用や本部のものを確認して第1回会議で提案する。  
→特別講演会の内容については以下の提案があり、第一候補を①として安田支部長より依頼して頂く。  
① 2019年7月発行『高速道路の土工技術史』について(NEXCO関係者)  
② はやぶさ2(松島先生の知り合い)  
③ 相鉄・東急直通線新網島駅(仮称)工事  
→第1回会議において第2回も従来どおりの会議スタイルで実施することとなった場合には開催日(第4回運営委員会も含めて)、特別講演会について再度調整する。  
→第1回会議において現在の商議員のうち非会員の方を参与とする本部の提案についての審議を行う。

- (5) 2020 年度 関東支部総会の開催日及び特別講演会の内容について 【別紙-12】  
 →4月24日(金)を候補として第1回商議委員会で提案する。また、特別講演会については今後調整する。
- (6) 2019 年度 関東支部賞について 【別紙-13】  
 →早期に技術賞、功績賞についてこれまでの受賞履歴のリストを含めた案内文を各県 G, 関東地質調査業協会に配布し、候補者の推薦を募る。
- (7) 第54回地盤工学研究発表会 【別紙-1】  
 →準備は順調に進んでおり、対外的な広報として県や市に対してチラシを配布するとともに大宮駅にはポスター展示を行う予定である。ただし、隣接する鐘塚公園における工事車両の展示が荷重制限などでできなくなり、場内の機器展示に変更した。  
 →屋外展示がないと一般市民に目にとまらないのでアピールするために大宮駅で目立つ場所で広告できると有効と考えられ、実行委員会内で検討頂く。  
 →昨年度の西日本豪雨災害など全国大会の開催時期には災害が起りやすい時期である。今年も九州南部で被災されており、開催時期にも災害が起りやすいのでその場合の対応はどうか？  
 →大会二日目に小ホールが空いており、対応は可能である。
- (8) 後援依頼：土木学会地下空間研究委員会「夏休み親子見学会：東京駅北通路周辺整備工事」 【別紙-15】  
 →審議の上、承認された。
- (9) 2019 年度予算執行状況について（本部より会計ソフトの提供が8月のため会計申請書類を杉山幹事長に確認済）  
 →会計ソフトを本格的に運用し始めてから変更点などの詳細を報告する。

## 5. メール審議決定事項

- (1) (共催) 7/2「中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害メカニズムの究明と地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究討論会」
- (2) (主催) 7/12 栃木県グループ「栃木県総合スポーツゾーン建設現場見学会」  
 →メール審議にて承認されていることを報告した。

## 6. 開催結果、進捗状況の報告（前回運営委員会以降、開催分を記載）

- (1) 2/19 特別講演会「南海トラフ巨大地震発生時の堆積盆地上に立地する都市部の地盤災害を考える」参加者：60名【開催済】
- (2) 4/26 特別講演会「衛星搭載干渉 SAR 手法を用いた地殻変動の3次元計測」参加者：72名【開催済】
- (3) 5/13 企画総務 G「南山東部土地区画整理事業高盛土工事現場見学会」参加者：20名【開催済】
- (4) 5/18 会員 SG 70 周年記念事業「ジオ散歩～城ヶ島での地層巡検の旅～」参加者：18名【開催済】
- (5) 6/6-7 企画総務グループ「若手技術者を対象とした意見交換セミナー」参加者：26名【開催済】  
 →会議の冒頭に、会場、セミナー、懇親会の状況や参加者へのインタビューを取りま

とめた広報用の試作版動画を試写した。動画に出ている方の承認は既にもらっており、学会 HP 上などで公表し、対外的なアピールのツールとして利用していくことについて承認された。また、全国大会においてもセッション間で流すことも可能であるとのことで実行委員会に速やかに完成版動画を提出する。

- (6) 7/2 共催行事「中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害メカニズムの究明と地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究討論会」参加者：64名【開催済】
- (7) 7/12 栃木県グループ「栃木県総合スポーツゾーン建設現場見学会」
- (8) 7/25 会員サービスグループ「2019年度ジオセミナー～人工誘発地震 Induced earthquakes～」  
→上記の開催結果、進捗状況を報告した。

## 7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービスグループ 【別紙-16】
  - ジオ散歩は人気企画であり、すぐに定員が埋まる。現地での行程管理・安全管理の面でスタッフも必要なので参加者はこれ以上増やすのは難しい。  
→安田支部長よりもっと回数を増やせないかとの要望があり、今後の検討課題とする。
  - 企画総務 G との共催の若手セミナーについて今後の運営方法を協議しながら進めていく。
  - シニアセミナーについて9月開催予定の第一回セミナーの講師及び今後の講師選定・依頼を安田支部長に依頼し、了承された。
  - 70周年記念フォトコンテストについて学生会員などの協力を得て準備しており、全国大会でアナウンスする予定である。また、安田支部長と杉山幹事長に採点委員を依頼し、了承された。
- (2) 茨城県グループ 【別紙-】
- (3) 栃木県グループ 【別紙-17】
  - 新年度の体制には今後の宅地関係との協力も見据えて設計会社から2名参加していただいている。
- (4) 群馬県グループ 【別紙-18】
  - 起案中の8/6開催予定の『叶山石灰石採掘現場見学会』について、別紙資料を基に審議した結果、主催が承認された。
- (5) 山梨県グループ 【別紙-】
- (6) 千葉県グループ 【別紙-19】
- (7) 埼玉県グループ 【別紙-20】
- (8) 神奈川県グループ 【別紙-21】
- (9) 研究委員会グループ 【別紙-22】
  - 今年度に新設する2委員会について委員募集が終了し、現在メンバー選定中であり、決まり次第、速やかに名簿を審議にかける。なお、メンバー選定にあたって研究委員会グループからの他委員会と重複している候補者もいるとの意見があり、応募者にも構成の際に留意する旨フィードバックを行う。
- (10) 支部発表会グループ 【別紙-23】

→スポンサー募集について技術紹介の時間を昨年度の5分から7分に延長し、参加者しおりへの公告掲載も併せて行う場合には値引きを行うなどより多くの応募を期待している。今後、メール配信などで早めの広報を行う予定である。

(11) 企画総務グループ

【別紙-24】

## 8. その他

(1) 退会届

- ・(株) IHI (4級)

(2) 新入会

- ・ジオ・サーチ株式会社 (4級)
- ・一般社団法人 全国住宅技術品質協会 (4級)
- ・株式会社 岡村地質 (4級)
- ・戸田建設 株式会社 土木本部 (特級)

(3) 次回運営委員会開催日程

2019年\*\*月\*\*日 (前年度は、2018年9月12日に開催)

→2019年9月12日に開催とする。

### 【安田支部長追加検討事項】

(1) 海外研究者の来日における震災復興に関するシンポジウム

11月に Misko Cubrinovski 教授, Jonathan Bray 教授が来日するに際してクライスチャーチ地震, 東日本大震災における特に住宅地の液状化被害に着目したシンポジウムの開催について検討したい

→開催に向けて海野副幹事長が幹事として段取りを行う予定とする。日本側は東日本大震災時の被害や復興に関して顕著であった地域の特徴について先生方(古関先生, 東畑先生, 國生先生, 安田支部長, 等)に説明していただく予定とする。

(2) 東日本大震災の10周年企画

震災から10周年を迎える2021年に向けてシンポジウムを開催することについて検討したい。(5周年は東北支部で開催しており, 10周年について本部にも投げかけている) →東北支部と共に開催するのであれば本部が主体とするのがよいと考えられる。関東支部としての主なテーマは液状化被害からの復興がよいと考えられる。また, このシンポジウムの内容について日本語の冊子に加えて英語冊子を作成し, 海外研究者に配布するなど国際的な発信を推進することが必要と考えられる。(場合によっては本部支部連絡協議会の議題として挙げる)